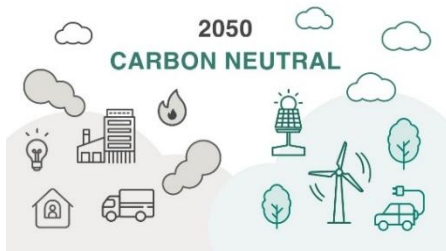


◆全国で一番カーボンニュートラルを推進する団体になる

公益社団法人日本青年会議所 関東地区 山梨ブロック協議会 戸田 和樹

公益社団法人日本青年会議所では、全国で一番カーボンニュートラルを推進する団体になるという目標を掲げ、様々な運動を実施しております。山梨ブロック協議会が本年度実施している具体的な取り組みをご紹介します。



★公益社団法人日本青年会議所の WEB ページ

<https://www.jaycee.or.jp/>

★公益社団法人日本青年会議所関東地区山梨ブロック協議会の WEB ページ

<https://www.jaycee.or.jp/kanto/yamanashi>

●全国「デコ活宣言」の実施

環境省では、2050 年ネットゼロ及び 2030 年度削減目標の実現に向けて、国民・消費者の行動変容、ライフスタイル転換を強力に後押しするため、国民運動「デコ活」を展開中です。脱炭素につながる将来の豊かな暮らしの全体像・絵姿をご紹介しますとともに、国・自治体・企業・団体等で共に、国民・消費者の新しい暮らしを後押しする取り組みです。

公益社団法人日本青年会議所はこのデコ活という取り組みに強く共感し、全国 47 都道府県のうち、全ての都道府県のブロック協議会にてデコ活宣言をいたしました。まずは宣言することで会員の行動変容を促しました。

★環境省の詳細 WEB ページ

<https://ondankataisaku.env.go.jp/dekokatsu/>

★公益社団法人日本青年会議所のプレスリリース

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000110.000126503.html>

●デコ活応援団の登録推進

デコ活応援団(官民連携協議会)とは、脱炭素につながる豊かな暮らしを実現するため、国・自治体・企業・団体等の効果的な連携や意見共有を目的として、デコ活と同時に立ち上げられたプラットフォームです。

参画者間で協議し、以下のアクションを実施しています。

- ①デジタル活用や製品、サービスを組み合わせた新たな豊かな暮らしのパッケージ提案、機会・場の創出等の消費者への効果的な訴求に向けた連携
- ②各主体の取組で得られた知見・経験・教訓の共有とベストプラクティスの横展開
- ③政府施策への提案・要望(環境省普及啓発予算の具体的な使い道・アイデア等)

公益社団法人日本青年会議所では脱炭素につながる豊かな暮らしを実現するために全国のメンバーにデコ活応援団への登録推進をしております。

●家庭から広がるカーボンニュートラル～

CN 家計簿の登録推進

日本青年会議所では家庭から広がるカーボンニュートラルをテーマに一年間活動しております。家庭の CO2 排出量を記録・分析し、環境負荷を見える化し、データに基づいた脱炭素ライフスタイルの実現をサポートするために CN 家計簿の登録を推進しております。CN 家計簿は環境省認定 JCNA カーボンニュートラル・アドバイザーを運営する、一般社団法人日本カーボンニュートラル協会が運営しています。

★CN 家計簿の詳細 WEB ページ

<https://www.cnkakeibo.jp/>

●全国同時 CN-action2026 の実施

全国各地の青年会議所メンバーの皆様の力を結集し全国同時に大きな脱炭素運動を実施しました。CN-action2026 は家庭での日常的な行動から CO₂削減を目指す取り組みで、本年 3 月 4 日と 4 月 4 日の 2 度にわたって開催してまいりました。2 度の取り組みとして合計で約 7,000 名が参加し、CO₂約 22t の削減につながりました。これは、一般家庭約 8,000 世帯分の 1 日あたりの排出量に相当します。使わない電気を消す、空調設定を見直すなど、日常の小さな行動が日本全体の大きな変化に繋がります。CN-action2026 では、あなたが今日実践した CN アクションを記録し、1 日あたりの CO₂削減量の目安を簡単にその場で確認できます。家庭から始まる一人ひとりの選択が、確かな成果を生み、未来をつくる。そのような取り組みとなっております。また、5 月 4 日から 1 週間の間を CN-action Week と名付け、全国各地のメンバーと共に CN-action を実施しました。

CN-action 2026 week



全国同時カーボンニュートラルウィーク
5月4日より一斉にスタート！



使っていない
電気を消そう！

冷房の温度を
1℃上げてみよう

通勤を車から
公共交通機関に！

2026.05.04-05.11

毎日生まれるCO₂を見える化
今すぐできる行動で、CO₂削減を積み上げよう。

結果としては、全国 541 もの各地会員会議所にご参加いただき、3,306 回のアクションを起こし、『CO₂ 約 80 t の削減』が見込まれる結果となりました。

★カーボンニュートラルアクション WEEK 結果について

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000142.000126503.html>

●ゲームしながら脱炭素！山梨県内交流事業

『CN2050～脱炭素ボードゲーム～』は、日常の中で「脱炭素につながる行動」を選びながら、2050 年までに地球上の CO₂をゼロにすることを目指す協力型ボードゲームです。山梨県内には 11 の各地会員会議所がごございます。それぞれの地域の会員会議所メンバーと交流・親睦をしながらカーボンニュートラルを身近に感じられる事業を実施いたしました。当日は、山梨県内の多くのメンバーが参加され、ボードゲームで楽しみながら、交流を図ることができました。



★CN2050～脱炭素ボードゲーム WEB ページ

<https://board-game-mill.stores.jp/items/636849c4f519732b9e33893f>

●ゲームしながら脱炭素！ 行政との連携

山梨県内各自治体と連携し、カーボンニュートラルについて自分事と捉えられる機会を提供しました。今回は行政関係職員と『CN2050～脱炭素ボードゲーム～』を実施し、カーボンニュートラルを身近に感じていただくきっかけづくりとなりました。



★山梨市役所職員とのボードゲーム実施

◆全国一斉カーボンニュートラルアクション

全国規模の運動を展開するため、日本青年会議所創立75周年の節目となる9月3日に、環境省との協働による「全国一斉カーボンニュートラルアクション」を実施いたします。全国同時に植樹の事業を展開します。山梨県では、甲州市にある認定こども園の塩山愛育園にて年長組の園児と共にオリーブの木を植樹します。またその様子を峡東CATVで撮影し、後日放送予定となっております。



植樹イメージ



★山梨県内交流事業の様子「交流しながら、未来について笑顔で語りあいました」

< プロフィール >

戸田和樹 / 公益社団法人日本青年会議所 関東地区 山梨ブロック協議会

上野原青年会議所に入会をし、委員長や専務理事、議長を経験したのち、山梨ブロック協議会の事務局長、副会長を歴任。2024年度に上野原青年会議所の理事長を拝命し、2026年度は第55代会長として日々活動。